

シンポジウム

近代ヒスパニック世界
における

共同体 の構築

垂直的紐帯

と

水平的紐帯



Vecinos



平成23年10月29日(土) 9:45~18:05

国立民族学博物館 2階 第3セミナー室

申込不要

交通案内: <http://www.minpaku.ac.jp/museum/information/access.html>

近代ヒスパニック世界における

共同体との構築

垂直的紐帯

と 水平的紐帯

シンポジウム

申込不要

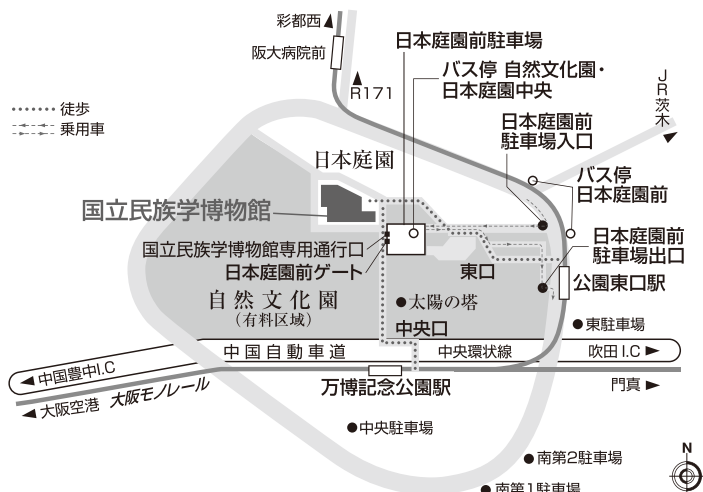
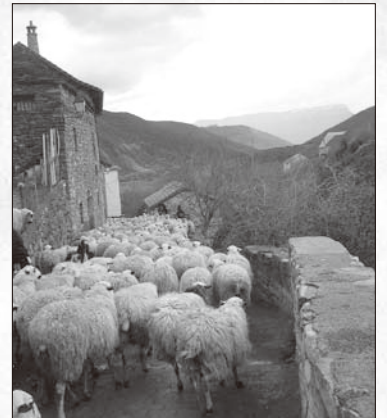
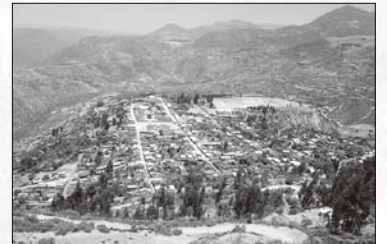
平成23年 10月29日(土) 9:45~18:05
国立民族学博物館 2階 第3セミナー室

近代初期のスペインとその植民地では、ふたつの注目すべき共同体構築の試みが並行して進められた。ひとつはイベリア半島における集権的国家の建設であり、もうひとつは世界規模の帝国建設である。そこでは、命令と服従、支配と従属という垂直的紐帯による階層的秩序の確立が最重要視された。他方、スペインには、対等な人びとが共通の目的のもと自由意志に基づいて結合する水平的な共同体モデルが、とりわけ地方自治体の運営において根強く存続していた。

本シンポジウムでは、近代初期のヒスパニック世界において、ふたつの共同体モデルがいかなる領域でどのような関係を取り結び、その関係が時代を経るにつれてどう変化していったかを、諸地域の事例の検討を通じて明らかにする。とりわけ、ふたつのモデルが必ずしも排他的ではなく、緊張をはらみながらも絡まり合い、もたれ合って機能していたという仮説のもと、両者の複雑な接合形態を究明する。

プログラム

09:45-10:00	開会挨拶
10:00-10:30	趣旨説明
10:30-11:45	近代スペイン国家形成と後期サラマンカ学派 —モリナの権力論を中心に— 報告：松森奈津子（静岡県立大学） コメント：染田秀藤（関西外国語大学）
11:45-13:00	昼 食
13:00-14:15	絆の切断 —16世紀スペインの結婚と失踪— 報告：中島聡子（東京海洋大学） コメント：宮崎和夫（筑波大学）
14:15-15:30	スペイン帝国における都市化／集住化をめぐるせめぎあい —植民地期メキシコを中心に— 報告：安村直己（青山学院大学） コメント：大越 翼（上智大学）
15:30-16:00	休 憩
16:00-17:15	自由の強制？ —スペイン領南米における集住政策とその帰結— 報告：齋藤 晃（国立民族学博物館） コメント：網野徹哉（東京大学）
17:15-18:00	全体討論
18:00-18:05	閉会挨拶



交通のご案内

国立民族学博物館（みんぱく）は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

- **大阪モノレール**
「万博記念公園駅」下車、徒歩約15分
「公園東口駅」下車、徒歩約15分
（「公園東口駅」からは自然文化園（有料区域）を通行せずに来館できます。）
- **バス**
〔近鉄バス〕（阪大本部前行き）阪急茨木市駅から約20分
JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
〔阪急バス〕（万博記念公園駅経由千里中央行き）阪急茨木市駅から約20分、
JR茨木駅から約10分「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分
- **タクシー**
万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分
- **自動車**
駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。
万博記念公園の駐車場（有料）をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分
※「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。

交通案内： <http://www.minpaku.ac.jp/museum/information/access.html>